
Dead in my life

もっち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Dead in my life

【Nコード】

N0643Z

【作者名】

もっち

【あらすじ】

日本、何もない平和な国。でも、この国には人知れず特殊な力を持つ能力者がいた。だが、この国には魔王もいなければ、悪の組織もない。ゆえに、それは必要のない力。なのに、その代償はとてつもなく大きくて残酷なもの。それは――人を殺すこと。主人公・白木忠治は気分で路地裏に行く。そこで人を殺していた少女と出会う。このとき、運命の歯車が回った。残酷な宿命を負う能力者である少年少女達はこの力という《呪い》を解くために戦う。

殺人少女との出会い（前書き）

もっちはです。新作です。

殺人少女との出会い

俺はどうしてここに來たのだろう。今となってはコンビニでアイスを買ってそのまま帰ればよかったと後悔している。なんとなく路地裏にまで来てみれば目の前に広がるのは――無数の死体。人間、犬など多岐にわたっていた。

そのまま突き進むと、今まさに人を殺そうとしている一人の少女がいた。

肌色の手は紅色に染まり、エメラルドブルーの瞳には狂気を宿していた。

「ひ、ひ、やめ!!」

男の助けもむなしく首をはねられた。あたり一面に赤い鮮血が飛び散る。だが、少女は気にした様子もなく、むしろ愉快に笑っていた。なのに、その目からは涙があふれ出ている。自分がやっていることがまるで少女の望むことではないように思えた時、俺は悟った。

――こいつも俺と同じなのか――と

俺は恐れることもなく少女に近づく。少女は俺に問いかけてきた。

「オマ……エモ……コイツラノ……ナカマカ……?」

その問いに答えず俺は彼女に近づく。

「ク、クル……ナ!」

少女は恐れた様子で俺に襲いかかってくる。俺は特に避けようともせず、歩き続ける。ザシュと音を立て、鋭利な爪が俺の肩をえぐった。俺の顔にも少女の顔にも血が飛び散った。

「ナゼ……ヨケナ……イ?」

「避ける必要がないからだよ」

「オマエモ……ワタシヲネラッテ……イルノダロ?」

「違う。俺はこんな野蛮な奴らとはな。俺は――」

一つ間を空け、こう言った。

「――おまえの仲間だ」

道明かりさえ消えていく中、月光が二人を照らす夜。
俺は少女、ミラン・カティール・イーターは出会った。

殺人少女との出会い（後書き）

読んでくださってありがとうございます。次回も宜しく願います。

もし、よろしければ評価とお気に入りの方もお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0643z/>

Dead in my life

2011年12月2日20時45分発行